

如月 KISARAGI

2月

如月は、生更木とも書き、命の芽吹きを感じさせる月です。

「生(き) = 生命が芽吹く」「更(さら) = 新しくなる」「木 = 草木」を組み合わせ、草木が芽吹き、生命が新しく生まれ変わる時期を表したといわれています。



1月25日 ウメ

上品・忍耐・忠実

中国原産の落葉高木。

初春のまだ緑も花も少ないお庭で、香りの良い花を咲かせます。梅はバラ科サクラ属の庭木ですが、桜と違い香りが良いのが特徴です。花、香り、果実の3拍子揃う優れた木として、日本人に愛されています。



2月9日 ゴヨウマツ

不老長寿・向上心

五葉松(ゴヨウマツ)は、葉が5本ずつ束になってつく日本固有の常緑針葉樹です。その美しい銀色がかった葉と、暑さ・寒さ・乾燥に強い丈夫さから、和風庭園の庭木や盆栽として古くから人気があります。

2月の誕生日の木

2月28日 マンサク

神秘・幸福の再来・豊作

冬の名残のある野山などで、木々の芽吹きも始まらない季節に、黄色の花を咲かせ、いち早く春の訪れを告げる花木です。花がよく咲けば豊作、花が少なければ不作など、稲の作柄を占う植物として古くから人との深いつながりをもっていました。



都道府県の花 ②



山形 【ベニバナ】

紅花は、アザミに似たキク科の花です。
7月の梅雨が明けるところまで、真黄色の花を咲かせます。

宮城【ミヤギノハギ】

日本の詩・和歌によく詠み込まれる秋の名花で、赤紫色や白色の可憐な花を咲かせます。



福島【ネモトシャクナゲ】

山地に生育する常緑低木・ハクサンシャクナゲのうち、花が八重咲きとなる変種をネモトシャクナゲと呼びます。

県内で自生が確認されているのは吾妻山と安達太良山に限られ、その数は極めて少なく、県民であっても滅多に目にする機会のない県花です。

茨城【バラ】

茨城の地名「いばら」にも通じるバラ。その美しい花は色彩豊かで香り高く、優雅な姿は品性を感じさせ、広く市民に愛されています。

県内には数多くのバラの名所があり、いばらきフラワーパークでは約900品種ものバラを楽しむことができます。



2月22日ねこの日



— 猫と一緒に暮らせる幸せに感謝し、猫とともにこの喜びをかみしめる記念日を —

愛猫家の学者・文化人で構成される猫の日実行委員会がペットフード工業会と協力して1987年(昭和62年)に制定。

日付は猫の鳴き声「ニャン(2)ニャン(2)ニャン(2)」と読む語呂合わせから2月22日に決定されました。

今回は、猫にちなんだ植物を集めました。



猫柳 ネコヤナギ

柔らかい花穂が猫の毛並みやしっぽを連想させるためその名がつきました。早春に花をつけ、春の訪れを告げる植物としても愛されています。



猫じゃらし ネコジャラシ

別名 エノコログサ

猫がじゃれて遊ぶことからネコジャラシ、花穂が犬の尾に似ていることから「犬っころ草」それが転じてエノコログサになりました。



キャットミント (ネベタ)

ラベンダーに似たシソ科の多年草で、ネコが好みます。本来はキャットニップの英名をこう呼ぶのですが、日本ではネベタ・ファーセニーがキャットミントとされています。



猫の目草 ネコノメソウ

谷筋や湿地、多湿な場所に自生しています。果実が裂けるとネコの目のように見えることからネコノメソウと名付けられました。